



2022年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年5月10日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ツムラ
 コード番号 4540 URL <https://www.tsumura.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 加藤 照和
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・コミュニケーション室長 (氏名) 犬飼 律子 (TEL) 03-6361-7100
 定時株主総会開催予定日 2022年6月29日 配当支払開始予定日 2022年6月30日
 有価証券報告書提出予定日 2022年6月29日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト・報道機関向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2022年3月期の連結業績（2021年4月1日～2022年3月31日）

（1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	129,546	11.3	22,376	15.4	25,904	24.1	18,836	22.9
2021年3月期	116,413	—	19,382	—	20,866	—	15,332	—

（注）包括利益 2022年3月期 29,889百万円（72.0%） 2021年3月期 17,381百万円（—%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年3月期	246.21	—	8.2	7.7	17.3
2021年3月期	200.40	—	7.2	6.6	16.6

（参考）持分法投資損益 2022年3月期 ー百万円 2021年3月期 115百万円

（注）「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を当連結会計年度の期首から適用しており、2021年3月期に係る各数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。これにより、2021年3月期の対前期増減率は記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期	350,981	258,109	68.3	3,133.97
2021年3月期	319,063	233,169	68.3	2,846.58

（参考）自己資本 2022年3月期 239,770百万円 2021年3月期 217,786百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年3月期	21,314	△9,111	△8,181	67,536
2021年3月期	16,102	△7,352	△10,425	59,668

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年3月期	—	32.00	—	32.00	64.00	4,896	31.9	2.3
2022年3月期	—	32.00	—	32.00	64.00	4,896	26.0	2.1
2023年3月期（予想）	—	32.00	—	32.00	64.00		32.6	

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	67,000	5.6	9,800	△16.1	10,000	△25.4	7,400	△25.7	96.72
通期	138,500	6.9	20,800	△7.0	21,200	△18.2	15,000	△20.4	196.06

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料の12ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2022年3月期	76,758,362株	2021年3月期	76,758,362株
2022年3月期	251,343株	2021年3月期	250,402株
2022年3月期	76,507,513株	2021年3月期	76,508,174株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(セグメント情報)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を当連結会計年度の期首から適用しており、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度の連結業績は、以下のとおりとなりました。

[連結業績]

(単位：百万円)

	前期 (2021年3月期)	当期 (2022年3月期)	対前期増減額 (増減率)
売上高	116,413	129,546	+13,132 (+11.3%)
国内	110,053	119,567	+9,514 (+8.6%)
海外	6,360	9,978	+3,618 (+56.9%)
売上原価	55,949	63,081	+7,131 (+12.7%)
販売費及び一般管理費	41,081	44,088	+3,006 (+7.3%)
営業利益	19,382	22,376	+2,994 (+15.4%)
経常利益	20,866	25,904	+5,038 (+24.1%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	15,332	18,836	+3,504 (+22.9%)

売上高は、前年同期と比べ11.3%増加し、129,546百万円となりました。

国内の売上高は、119,567百万円となりました。医療用漢方製剤129処方の売上高は、新型コロナウイルス感染症の拡大による受診控え等の影響を受けながらも、e-プロモーションの拡充を進めたことにより、前期比で8.1%増加しました。主力である育薬処方^{*1}の大建中湯は前年同期に比べ3.4%増加し、六君子湯は前年同期に比べ8.3%増加しました。Growing処方^{*2}では、五苓散、加味逍遙散が好調に推移しました。

海外の売上高は、原料生薬と飲片（刻み生薬）の販売を中心とする生薬プラットフォーム（平安津村薬業有限公司、深セン津村薬業有限公司等）の売上高が大きく寄与し、9,978百万円となりました。

売上原価は、売上高の伸長により前年同期と比べ12.7%増加し、63,081百万円となりました。売上原価率は、前年同期と比べ0.6ポイント上昇し、48.7%となりました。

販売費及び一般管理費は、前年同期と比べ7.3%増加し、44,088百万円となりました。主にe-プロモーションに伴う活動経費等の増加によるものです。販管費率は、前年同期と比べ1.3ポイント低下し、34.0%となりました。

以上の結果、営業利益は前年同期と比べ15.4%増加し、22,376百万円となりました。営業利益率は、前年同期と比べ0.7ポイント上昇し、17.3%となりました。経常利益は、為替差益の影響により、前年同期と比べ24.1%増加し、25,904百万円となり、親会社株主に帰属する当期純利益は、前年同期と比べ22.9%増加し、18,836百万円となりました。

当社を取り巻く経営環境は、新型コロナウイルス感染症の拡大による経済活動の制限を受ける等、依然として厳しい状況ではありますが、製薬企業の使命である製品の安定供給を最優先に取り組んでまいります。

※1 育薬処方：

近年の疾病構造を見据え、医療ニーズの高い領域において新薬治療で難渋している疾患で、医療用漢方製剤が特異的に効果を発揮する疾患に的を絞り、エビデンス（科学的根拠）を確立する処方

※2 Growing処方：

育薬処方に続く戦略処方として、治療満足度や薬剤貢献度の低い領域でのエビデンス構築（安全性・有効性データ等）により診療ガイドライン掲載を目指す処方

[新型コロナウイルス感染症への取り組み及び業績への影響について]

当連結会計年度において、製品供給への影響は国内及び海外ともに出ておりません。また、業績影響については、医療機関への訪問による情報提供活動の制限等、一部事業活動への影響を受けております。

不透明な事業環境が続きますが、引き続き状況の変化を注視するとともに、感染予防に細心の注意を払った生産・物流の維持や情報収集・提供活動等への対応を行ってまいります。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における財政状態は以下のとおりであります。

当連結会計年度末における資産合計は350,981百万円で、前連結会計年度末に比べて31,917百万円の増加となりました。流動資産は、棚卸資産の増加等により、前連結会計年度末に比べ25,146百万円の増加となりました。固定資産は、投資有価証券が減少した一方で、建物及び構築物の増加等により、前連結会計年度末に比べて6,771百万円の増加となりました。

負債合計は92,871百万円で、前連結会計年度末に比べて6,977百万円の増加となりました。流動負債は、支払手形及び買掛金が増加した一方で、1年内返済予定の長期借入金の減少等により、前連結会計年度末に比べて2,505百万円の減少となりました。固定負債は、長期借入金の増加等により、前連結会計年度末に比べて9,482百万円の増加となりました。

純資産合計は258,109百万円で、前連結会計年度末に比べて24,940百万円の増加となりました。株主資本は、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べて13,880百万円の増加となりました。その他の包括利益累計額は、為替換算調整勘定の増加等により、前連結会計年度末に比べて8,103百万円の増加となりました。また、非支配株主持分は、前連結会計年度末に比べて2,956百万円の増加となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末と同様の68.3%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

当連結会計年度は、営業活動によるキャッシュ・フローが21,314百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが9,111百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが8,181百万円の支出となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、21,314百万円の収入となりました。主な内訳は、収入項目では税金等調整前当期純利益25,563百万円、支出項目では法人税等の支払額7,074百万円であります。前連結会計年度との比較では、5,211百万円収入が増加しております。

投資活動によるキャッシュ・フローは、9,111百万円の支出となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出10,174百万円であります。前連結会計年度との比較では、1,759百万円支出が増加しております。

財務活動によるキャッシュ・フローは、8,181百万円の支出となりました。主な内訳は、配当金の支払額4,896百万円であります。前連結会計年度との比較では、2,244百万円支出が減少しております。

その結果、現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べて7,867百万円増加し、67,536百万円となりました。

(4) 今後の見通し

2023年3月期の業績予想につきましては、売上高は国内医療用漢方製剤ならびに中国事業の伸長傾向をふまえ138,500百万円を見込んでおります。このうち海外の売上高は14,300百万円の見込みであります。利益につきましては、営業利益20,800百万円(7.0%減)、経常利益21,200百万円(18.2%減)、親会社株主に帰属する当期純利益15,000百万円(20.4%減)を見込んでおります。

国内においては、MRによる実面談での情報提供に加え、デジタル技術を活用したハイブリッド型プロモーションにより、医療従事者一人ひとりが必要とする情報を最適なチャネルから適切なタイミングで提供し、最適な顧客体験を実現することで、漢方市場の継続的拡大を目指してまいります。海外においては、生薬プラットフォームにおける原料生薬、飲片(刻み生薬)の販売拡大とともに、中成薬事業参入に向けた取り組みを進めてまいります。なお、現時点で新型コロナウイルス感染症の収束時期を正確に見通すことが困難な状況ではありますが、状況に変化が発生した場合には適時・適切な開示を実施いたします。

当社は、今後も、社員やお得意先、お取引先の皆様等の安全を最優先に感染拡大防止に努め、政府の方針や行動計画に基づき対応方針を決定すると共に、適切な事業継続を図ってまいります。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
翌連結会計年度 2023年3月期 (増減率)	138,500 (6.9%)	20,800 (△7.0%)	21,200 (△18.2%)	15,000 (△20.4%)

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸事情を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	61,310	67,552
受取手形及び売掛金	48,623	54,879
商品及び製品	13,939	10,247
仕掛品	13,396	13,614
原材料及び貯蔵品	53,419	68,889
その他	13,637	14,360
貸倒引当金	△53	△123
流動資産合計	204,273	229,420
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	74,533	89,563
機械装置及び運搬具	61,483	70,189
工具、器具及び備品	12,294	13,288
土地	9,051	9,051
建設仮勘定	13,923	3,488
その他	499	602
減価償却累計額	△87,609	△96,143
有形固定資産合計	84,176	90,040
無形固定資産		
のれん	7,881	8,513
その他	3,561	3,814
無形固定資産合計	11,443	12,328
投資その他の資産		
投資有価証券	11,445	10,184
退職給付に係る資産	2,252	2,842
繰延税金資産	500	660
その他	4,972	5,504
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	19,170	19,192
固定資産合計	114,789	121,561
資産合計	319,063	350,981

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,593	13,676
短期借入金	10,472	10,313
1年内返済予定の長期借入金	12,380	—
未払金	5,607	7,222
未払法人税等	4,057	3,271
その他	7,269	11,392
流動負債合計	48,380	45,875
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	—	9,377
繰延税金負債	231	287
再評価に係る繰延税金負債	1,179	1,179
退職給付に係る負債	61	55
その他	6,041	6,096
固定負債合計	37,513	46,996
負債合計	85,894	92,871
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,142	30,142
資本剰余金	13,789	13,732
利益剰余金	168,989	182,929
自己株式	△679	△682
株主資本合計	212,241	226,121
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,180	2,324
繰延ヘッジ損益	1,233	2,020
土地再評価差額金	2,673	2,673
為替換算調整勘定	△1,130	6,911
退職給付に係る調整累計額	△412	△280
その他の包括利益累計額合計	5,544	13,648
非支配株主持分	15,382	18,339
純資産合計	233,169	258,109
負債純資産合計	319,063	350,981

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
売上高	116,413	129,546
売上原価	55,949	63,081
売上総利益	60,464	66,465
販売費及び一般管理費	41,081	44,088
営業利益	19,382	22,376
営業外収益		
受取利息	474	443
受取配当金	250	248
持分法による投資利益	115	—
為替差益	366	2,474
その他	594	579
営業外収益合計	1,801	3,745
営業外費用		
支払利息	286	173
その他	31	44
営業外費用合計	318	218
経常利益	20,866	25,904
特別利益		
固定資産売却益	0	26
投資有価証券売却益	4	114
特別利益合計	5	140
特別損失		
固定資産売却損	0	24
固定資産除却損	413	457
特別損失合計	414	481
税金等調整前当期純利益	20,456	25,563
法人税、住民税及び事業税	6,235	6,268
法人税等調整額	△519	△101
法人税等合計	5,715	6,167
当期純利益	14,741	19,395
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	△591	559
親会社株主に帰属する当期純利益	15,332	18,836

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
当期純利益	14,741	19,395
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	412	△856
繰延ヘッジ損益	1,146	786
為替換算調整勘定	541	10,366
退職給付に係る調整額	536	131
持分法適用会社に対する持分相当額	2	64
その他の包括利益合計	2,640	10,494
包括利益	17,381	29,889
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	17,616	26,940
非支配株主に係る包括利益	△235	2,949

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	30,142	14,041	158,610	△678	202,116
当期変動額					
剰余金の配当			△4,896		△4,896
親会社株主に帰属する当期純利益			15,332		15,332
連結範囲の変動			△57		△57
自己株式の取得				△1	△1
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△252			△252
連結子会社の増加による非支配株主持分の増減					-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	△252	10,378	△1	10,124
当期末残高	30,142	13,789	168,989	△679	212,241

	その他の包括利益累計額						非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	2,767	87	2,673	△1,318	△949	3,260	8,619	213,997
当期変動額								
剰余金の配当								△4,896
親会社株主に帰属する当期純利益								15,332
連結範囲の変動								△57
自己株式の取得								△1
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動								△252
連結子会社の増加による非支配株主持分の増減							7,567	7,567
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	412	1,146	-	187	536	2,283	△803	1,479
当期変動額合計	412	1,146	-	187	536	2,283	6,763	19,171
当期末残高	3,180	1,233	2,673	△1,130	△412	5,544	15,382	233,169

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	30,142	13,789	168,989	△679	212,241
当期変動額					
剰余金の配当			△4,896		△4,896
親会社株主に帰属する当期純利益			18,836		18,836
自己株式の取得				△3	△3
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△56			△56
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△56	13,940	△3	13,880
当期末残高	30,142	13,732	182,929	△682	226,121

	その他の包括利益累計額						非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	3,180	1,233	2,673	△1,130	△412	5,544	15,382	233,169
当期変動額								
剰余金の配当								△4,896
親会社株主に帰属する当期純利益								18,836
自己株式の取得								△3
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動								△56
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△856	786	—	8,041	131	8,103	2,956	11,060
当期変動額合計	△856	786	—	8,041	131	8,103	2,956	24,940
当期末残高	2,324	2,020	2,673	6,911	△280	13,648	18,339	258,109

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	20,456	25,563
減価償却費	8,210	8,743
のれん償却額	405	446
貸倒引当金の増減額(△は減少)	31	60
受取利息及び受取配当金	△724	△692
支払利息	286	173
持分法による投資損益(△は益)	△115	—
有形固定資産除売却損益(△は益)	413	455
売上債権の増減額(△は増加)	△1,408	△5,515
棚卸資産の増減額(△は増加)	△4,515	△5,496
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,612	3,789
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	△4	△114
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△281	△411
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5	5
その他	127	909
小計	21,275	27,915
利息及び配当金の受取額	878	682
利息の支払額	△275	△209
法人税等の支払額	△5,775	△7,074
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,102	21,314
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	2,631	1,748
有形固定資産の取得による支出	△8,949	△10,174
有形固定資産の売却による収入	1	66
無形固定資産の取得による支出	△467	△413
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△24,453	△15,516
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	24,465	15,657
子会社出資金の取得による支出	△451	—
貸付けによる支出	△156	△0
貸付金の回収による収入	2	1
その他	26	△479
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,352	△9,111
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,857	—
短期借入金の返済による支出	△14,086	△171
長期借入れによる収入	—	9,377
長期借入金の返済による支出	—	△12,337
非支配株主からの払込みによる収入	7,567	—
配当金の支払額	△4,896	△4,896
非支配株主への配当金の支払額	△49	△87
連結の範囲の変更を伴わない子会社出資金の取得による支出	△760	—
その他	△56	△64
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,425	△8,181
現金及び現金同等物に係る換算差額	131	3,845
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,543	7,867
現金及び現金同等物の期首残高	57,692	59,668
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	3,519	—
現金及び現金同等物の期末残高	59,668	67,536

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、従来、売上原価と販売費及び一般管理費に計上していた一部の費用については売上高より控除しております。

また、従来、流動負債に計上していた返品調整引当金については、返金負債として流動負債のその他に表示しております。

当該会計方針の変更は、原則として遡及適用され、前連結会計年度については遡及適用後の連結財務諸表となっております。ただし、収益認識会計基準第85項に定める以下の方法を適用しております。

(1) 前連結会計年度の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約について、比較情報を遡及的に修正しないこと

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前連結会計年度の売上高が14,469百万円減少し、売上原価は2百万円減少し、販売費及び一般管理費は14,467百万円減少しておりますが、営業利益、経常利益、税金等調整前当期純利益及び1株当たり情報に与える影響はありません。また、利益剰余金の前期首残高に与える影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報)

当社グループは医薬品事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
1株当たり純資産額	2,846.58円	3,133.97円
1株当たり当期純利益金額	200.40円	246.21円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

2 算定上の基礎

(1) 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	233,169	258,109
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	15,382	18,339
(うち非支配株主持分(百万円))	(15,382)	(18,339)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	217,786	239,770
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(千株)	76,507	76,507

(2) 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	15,332	18,836
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	15,332	18,836
普通株式の期中平均株式数(千株)	76,508	76,507

(重要な後発事象)

該当事項はありません。